

2025年12月24日

二学期お疲れさまでした。

行事も勉強も忙しい毎日の中で、上手くいったことも、思うようにいかなかったことも、それぞれにあったことでしょう。春から始まる高校3年生の1年間は、これまでとは違うスピードで進みます。年末を迎える今こそ、一度立ち止まり、自分の歩みを整理してみましょう。この冬休みを、次の一年への準備期間にしていきましょう。

今後の行事予定

1月

8(木) 始業式 + 授業(木56 水6)

29日(木) 全統高2マーク模試(1日目)【科目】・理科・社会・英語

30日(金) 全統高2マーク模試(2日目)【科目】・情報・数学・国語

※理科 **文型** 理科(基礎科目)2科目 **理型** 理科(基礎なし)2科目

※社会 **文型** 地歴から1科目と公民から1科目 **理型** 地歴・公民から1科目

※情報も全員受験します。



← 共通テストについて詳しくはこちら

3年生になったら…

下の表のような模試を案内します。これまでとは違い、学年全員で受験するわけではありません。希望者が自分で科目を選択して受験する形態となります。全統模試以外にも模試はたくさんあるので、自分で調べて受験しましょう。模試を上手に活用していくことが合格への近道です！

5月3日	第1回全統共通テスト模試(河合塾)	マーク	校外
5月10日	第1回全統記述模試(河合塾)	記述	校外
7月26日	第2回全統共通テスト模試(河合塾)	マーク	校外
8月23日	第2回全統記述模試(河合塾)	記述	校外
10月4日	第3回全統記述模試(河合塾)	記述	校外
10月18日	第3回全統共通テスト模試(河合塾)	マーク	校外
11月15日	全統プレ共通テスト(河合塾)	マーク	校外
1月17・18日	共通テスト		

※11月・12月には共通テストに向けて校内でも模試を実施します。



← 河合塾の模試について詳しくはこちら

冬休みの課題一覧！ しっかり計画的に取り組みましょう

短い冬休みですが、課題が出ている教科もたくさんあります。計画的に全部仕上げて、きちんと提出日に提出し、2026年をいい形でスタートさせましょう！

冬休みは2週間しかありません！

【冬休みの宿題一覧表】



うれしい知らせが届きました！

F組の陸さんが「第10回府中高生ビブリオバトル」で見事優勝し、来年2月に東京で行われる全国大会への出場を決めました！一冊の本と真剣に向き合い、その魅力を自分の言葉で伝えきった結果です。本当におめでとうございます。

年末年始、少し時間に余裕ができるこの季節。スマホを置いて、一冊の本とじっくり向き合ってみてはいかがでしょうか。「勉強のため」ではなく、「自分のため」に本を読む時間は、きっとこれからの進路や生き方にも静かに影響してくれるはずです。この冬、あなたも「誰かに語りたくなる一冊」に出会ってみませんか。ということで！今回は先生たちのオススメ本を紹介します！みなさんも是非読んでみてください！

小林(あ)先生	・『若き数学者のアメリカ』/藤原正彦 ・『燃えよ剣』/司馬遼太郎
酒井先生	・『ユダヤ人の成功哲学 タルムード説話30選 読むだけで賢くなる物語集』/高橋悠人 ・『地政学が最強の教養である”圧倒的教養”が身につくたった1つの学問』/田村耕太郎
那須先生	・『大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした』/クルベウ
的羽先生	・『マスカレード・ホテル』/東野圭吾
小林(哲)先生	・『今日のハチミツ、あしたの私』/寺地はるな ・『君の名前の横顔』/河野裕
名越先生	・『アヒルと鴨のコインロッカー』/伊坂幸太郎 ・『成瀬は天下を取にいく』/宮島未奈
城田先生	・『破船』/吉村昭
上田先生	・『新よくて一問一答日本史』/日本史一問一答編集委員会
牛尾先生	・『普天を我が手に』/奥田英朗
伊藤先生	・『プリンセス トヨトミ』/万城目学
大西先生	・『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』/村上春樹
芦田先生	・『下町ロケット』/池井戸潤 ・『カフネ』/阿部暁子
西浦先生	・『博士の愛した数式』/小川 洋子
網先生	・『おおきな木(原題:The Giving Tree)』/シエル・シルヴァスタイン
勝村先生	・『ひかりの魔女』/山本甲士
多田先生	・『赤と青のガウン — オックスフォード留学記』/彬子女王

今年、三笠宮家の当主となられた彬子女王がイギリスのオックスフォード大学での留学生活をつづった留学記です。彬子女王の語り口はとてもわかりやすく、ユーモアもあり、たいへん読みやすい留学記です。皇族の方々は普段どんな暮らしをしているのか、興味を持ったことはありませんか？私たちの知らない皇族の生活や、私たちと変わらない生活の一部など、興味深く読み進めることができます。ちなみに、彬子女王は現在、京都に住み、京都産業大学で学生たちに日本文化について教えておられます。読みやすい本ですので、ぜひ読んでみてください。(多田先生より)

大人の絵本と呼ばれる作品の1つです。初めて呼んだのは、高校生でした。それから幾度となく読み返し、その時の年齢で、感じるモノが全然違う。人の本質を突く一冊と思います。絵本ですから、ほぼ一瞬で読めますので、是非一度読んでみてください。(網先生より)

